

【2】 教育研究上の基礎的な情報

1 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的

(1)-1 本学に設置する学部および学科の名称

キャンパス	学部	学科
八王子キャンパス	応用生物学部	応用生物学科
	コンピュータサイエンス学部	コンピュータサイエンス学科
	メディア学部	メディア学科
	工学部	機械工学科
		電気電子工学科
		応用化学科
蒲田キャンパス	医療保健学部	看護学科
		臨床工学科
		理学療法学科
		作業療法学科
		臨床検査学科
	デザイン学部	デザイン学科

(1)-2 学部及び学科の教育研究上の目的

応用生物学部、応用生物学科は、生物の高効率・省エネルギーシステムに学び、これを工学的に応用することにより、社会・産業に役立つ有為な人材を養成する。

コンピュータサイエンス学部、コンピュータサイエンス学科は、コンピュータ、ネットワーク、システム等における要素技術を含む情報通信応用技術の教育研究を通じて、社会に貢献することのできる有為な人材を養成する。

メディア学部、メディア学科は、人間社会のあらゆる局面において活動するメディアに関して、メディア表現、メディア環境、メディア技術などの教育を通じて、多様で発展的なメディア分野で活躍することのできる創造性豊かな人材を養成する。

工学部は、生活の質の向上と持続可能な社会を実現するため、豊かな人間性と自立性ととともに、工学分野の専門知識を身につけた、科学技術の発展に貢献できる実践的かつ国際的人材を養成する。

工学部、機械工学科は、サステイナブル工学の技術と機械、電気電子、システム等の教育研究をつうじて、生活の質の向上と持続可能な社会の構築に貢献できる有為な人材を養成する。

工学部、電気電子工学科は、サステイナブル工学の技術と電気、電子、情報通信技術等の教育研究をつうじて、生活の質の向上と持続可能な社会の構築に貢献できる有為な人材を養成する。

工学部、応用化学科はサステイナブル工学の技術と材料化学、化学プロセス、化学システム等の教育研究をつうじて、生活の質の向上と持続可能な社会の構築に貢献できる有為な人材を養成する。

医療保健学部は、人間の生命や生活の質を真に理解できる豊かな人間性ととも、専門的職業人としての基盤を整え、保健・医療・福祉の幅広い領域で、人間の健康と福祉の向上に貢献することのできる有為な人材を養成する。

医療保健学部、看護学科は、看護学及び保健学を学び、医療、産業、行政、地域の分野で看護、保健活動に従事する人間性豊かで自立した有為な人材を養成する。

医療保健学部、臨床工学科は、医用工学及び医用機器の基礎および臨床応用を学び、医療現場における機器の管理、他職種への指導を通じて高度な医療行為に参画する有為な人材を養成する。

医療保健学部、理学療法学科は、理学療法学を学び、障害を有する者のリハビリテーションを全人的立場から実施し、有効な治療を工夫して行う有為な人材を養成する。

医療保健学部、作業療法学科は、作業療法学を学び、乳幼児期から老年期までの生活障害を改善し、生活の質(QOL)と意欲の向上に資する技術者として活動する有為な人材を養成する。

医療保健学部、臨床検査学科は、日進月歩で進む医療を支える臨床検査の最新知識を学び、正しい診断情報を提供する臨床検査のエキスパートとなる有為な人材を育成する。

デザイン学部、デザイン学科は、広く芸術に関する理論と実践を教授する。加えて、「描く」「作る」等を中心とした感性教育とこれからのデザイン分野に必要な最先端スキルを教育することによって、感性豊かで、最先端のスキルを駆使し広範なデザイン分野で活躍できる有為な人材を養成する。

(2)-1 大学院に設置する研究科、課程および専攻の名称

研究科	修士課程(博士前期課程)	博士課程(博士後期課程)
バイオ・情報メディア研究科	バイオニクス専攻	バイオニクス専攻
	コンピュータサイエンス専攻	コンピュータサイエンス専攻
	メディアサイエンス専攻	メディアサイエンス専攻
	アントレプレナー専攻	

(2)-2 課程の教育研究上の目的

修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。

博士後期課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

(2)-3 研究科の教育研究上の目的

バイオ・情報メディア研究科は、21世紀社会の発展にかかわりを持つ新たな技術の開拓に挑戦し、バイオ・情報・メディアの学際的分野の技術や知識を通して、それぞれの専攻分野の高度で実践的な知識や技術の修得をねらいとする。

(2)-4 研究科に置く専攻の教育研究上の目的

バイオニクス専攻は、生物の高効率・省エネルギーシステムに学び、これを工学的に応用することにより、社会・産業に役立つ独創的な技術者・研究者を養成する。

コンピュータサイエンス専攻は、最先端の情報通信技術分野に関する教育研究を通じて、高度情報化社会における、経済、社会、生活、文化の中核を担う先進的な技術者・研究者を養成する。

メディアサイエンス専攻は、人間社会のあらゆる局面において活動するメディアに関して、メディア表現、メディア環境、メディア技術などの教育を通じて、多様で発展的なメディア分野で活躍することのできる創造性豊かな技術者・研究者を養成する。

アントレプレナー専攻は、先端科学技術に対する知見とともに企業経営に対する知識及び戦略的思考を基盤とするマネジメント能力に秀でた起業家の視座を展開することのできる有為な人材を養成する。